

学校だより

四日市市立八郷小学校発
平成24年1月19日発行

《 No.25 》

【八郷小学校ホームページのリニューアルが完成しました】

学校だより24号でお知らせしました「八郷小ホームページのリニューアル」が完成しました。下の画面は、ホームページのトップページ画面です。今回、様々な機能を持たせましたので紹介します。



学校概要から安全対策の欄です。カーソルを合わせていただくと、子どもの様子、学校の様子、PTAの活動、コミュニティスクールとしての取組みなど、一目でわかります。

本校のコミュニティスクールの基本的な考えが載せられています。

東日本大震災の支援のための子どもたちの活動が紹介されています。

ここをクリックしていただくと、四日市市内全ての小中学校のホームページや八郷地区の様々な関係団体の公式ホームページにリンクできます。

東日本大震災で被害を受けた方への「応援メッセージ」が載せられています。

前回のホームページでは、いつも同じ写真が貼り付けられていましたが、今回からは、移動している写真をクリックしていただくと、その写真が拡大されて写ります。

出席停止のとき、病院へ持っていただく用紙、治療が済んだ後、学校に提出していただく用紙がダウンロードできるようになっています。

まだ、リニューアルしたばかりで、いろいろな不具合も見つかっています。これで完成ではなく、「より楽しく」「より子どもたちの理解につながる」「学校の方針がよくわかる」ホームページにしておくために、取組んでいきたいと思っております。そのためにも、保護者の皆さんのアクセスをお待ちしています。

裏面に続きます

【朝明中学校への体験入学】



1月17日（火）の5限目、大矢知興譲小学校6年の子どもたちといっしょに、朝明中学校の体験入学を行いました。朝明中学校3年生が卒業試験の期間を利用して、3年生の担任の先生方の協力を得て、体育館でのクラブ活動の説明、また、教室にわかれての授業を受けました。

八郷小の子どもたちも大矢知興譲小学校の子どもたちも緊張ぎみにスタートをしましたが、中学校の山路校長先生とのあいさつも、聞き方もとてもしっかりしたものでした。山路校長先生からは、しっかりした子どもに育てていただいたことを感謝されました。これも子どもたちのがんばりの結果です。

このような取組みを昨年度から実施しています。中学校へ進学する6年生。新たなステップです。適度な緊張感は必要ですが、中学校への恐れや怖さを必要以上に持つことはなく、直接中学校の先生に会い、中学校生活について話を聞くことで、小学校と中学校の段差を低くしようとする取組みです。子どもたちが「中学校も楽しそうだな」と感じてくれればと思います。

◀朝明中学校区学びの一体化の推進▶

「体験入学」も学びの一体化のひとつとして実施していますが、朝明中学校に関わる公立の大矢知保育園・大矢知幼稚園・八郷中央幼稚園・大矢知興譲小学校・八郷小学校の6校園で、12年間を見通した教育活動を実践するため、「朝明中学校区学びの一体化の推進活動」を関係する教職員全員で実践しています。

17日（火）は、体験入学の終了後、八郷小学校に集っていただき推進委員会を開きました。

6校園の教員がチームを組んで、今年度取組んできた、「5つの部会」「5つの年齢別ステージ」で付けたい力の最終確認を行いました。

「5つの部会」・・・授業づくり、学習規律、体づくり、生徒指導、人権同和教育という、学校生活を5つの側面に切り取り、中学校を卒業するまでのどのような力を付けていくか。

「5つの年齢別ステージ」

- ・・・0歳～3歳（保育園の年齢）、4歳～6歳（保・幼稚園、小学1年の年齢）
- 7歳～10歳（小学2年～4年の年齢）、11歳～13歳（小学5・6年、中学1年の年齢）、14・15歳（中学2・3年の年齢）
- ・・・5つの年齢別ステージごとに、どのような力を育てて次のステージの指導につなげていくのか。

このような研修を通して、「勉強をあきらめない児童・生徒」「折れない気持ちの強さを持つ児童・生徒」を目指していきます。次年度は、八郷小学校の教員が、「5つの部会」「5つの年齢別ステージ」の「めざす子どもの姿」と「達成のための手立て」に応じた授業を行い、6校園の教職員全体での討議をしていく中で、共通した指導の徹底を図っていくことになっています。

朝明中学校では、次年度から文部科学省の委託事業「魅力ある学校づくり」を受けます。魅力のある学校をつくるためには、教員と生徒が相互に取組む中で醸成していくものと考えます。朝明中学校に進学する八郷小学校の子どもたちも大矢知興譲小学校の子どもたちが、自分たちの学校を魅力あるものにするため、学力・体力・友だちづくりに主体的にかかわり、自ら行動できる子どもたちを育て進学させていきたいと考えています。

そのためにも、生活リズムの向上、家庭学習、お手伝い、学び合う学習、地域と連携した学校づくりをより推進していきたいと思っています。

